

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2017年2月号 通巻98号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2017

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ついに23区にキツネが出現 ただし定住はしていない模様

場所	目撃年	東京都23区までの直線距離	備考
東京都練馬区	2010年	0km	DBN4212
埼玉県戸田市	2011年	約3km	荒川河川敷。DBN176
千葉県松戸市	2014年	約5km	農地が多い場所。DBN2928
東京都稲城市	2015年	約7km	ゴルフ場。DBN3583
埼玉県所沢市	2012年	約11km	狭山丘陵。ゴルフ場。DBN2048
東京都多摩市	2012年	約11km	多摩川河川敷。DBN2368
東京都国立市	2013年	約13km	DBN2629
埼玉県入間市	1997年	約16km	狭山丘陵。DBN3302

東京都23区に近い順に並べたキツネの目撃情報。20km以内の事例を挙げた。

今年も毎年恒例のタヌキ等の報告書を公開しました。今回はついにキツネを報告することになりました。

ぎりぎり23区内での目撃

東京都23区にキツネが生息していないのはこれまで目撃情報がまったくないことから確実でした。1980年代までは生息していたらしいのですが、今となってはそれもはっきりしません。

今回報告することになったキツネの目撃情報は最近のものではなく、2010年の目撃でした。報告者に場所などを確認してもらったところ、ぎりぎり東京都23区側に入り込んでいることがわかったのです。ですがそのキツネの定住場所は明らかに埼玉県側でした。たまたま東京都23区側に入って来ただけだったようでした。それでも、これは数十年ぶりのキツネ出現の記録となったのです。

東京都23区にキツネが定着することは非常に難しいと思われます。その理由はキツネの食性にあります。

キツネは雑食性ですが動物性のもの、例えばネズミ類やウサギなどの小動物をよく食べます。つまりこれら小動物がいないとキツネ自身も生息できないのです。

東京都と近隣でのキツネの目撃場所は荒川など大河川の河川敷やゴルフ場です。つまり「広大な草原」を好んでいるようで、そのような場所にはネズミなどもいるということなのでしょう。東京都23区でこれに該当するのは荒川、多摩川、江戸川の河川敷ですが、河川敷のすぐ外には住宅地がせままっているため小動物が多く生息しているわけではなさそうです。このためキツネには暮らしにくいのです。

いつかキツネが来るかも

東京都23区の河川敷が暮らしにくいとしても、キツネが上流側から移動して来る可能性はあります。上の表を見ると意外と近くの河川敷にキツネがいることがわかりますが、残念なことに23区から見ると対岸側に

位置しており、すぐにもキツネが来れるような状況ではありません。

上の表では狭山丘陵での目撃例が少ないのですが、実際にはキツネがある程度定住しているのは確実です。ただ、ここから東京都心へ向かって生息範囲を広げていくのは難しそうです。

キツネの都会進出は難しいことではありますが、中には長距離を旅する冒険者が現れないとも限りません。そんなキツネを発見するためにも東京タヌキ探検隊！は常に目撃情報収集の態勢を整えています。タヌキなどでも同様ですが、情報収集の範囲は東京都23区だけではなく日本全国です。皆様の目撃情報をお待ちしています。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>